

「出前授業～農業を身近に感じよう～」を開催

＜四国東部農地防災事務所＞

平成 27 年 7 月 15 日（水）、四国東部農地防災事務所は、吉野川下流域農地防災事業の受益地内に位置する藍住町立藍住北小学校にて小学 5 年生 85 名を対象に出前授業を開催しました。

地域の農業や吉野川下流域農地防災事業が果たす役割について興味を持ち、理解をより深めてもらうため、地域の主要農作物や農業用水の役割、吉野川下流域農地防災事業についてクイズを交えながら紹介しました。児童は次々と手を挙げて答えるなどして積極的に参加し、ご飯一杯分のコメを育てるために必要な用水量を当てるクイズでは、「何故、そんなにたくさんの水を使うのか」などの農業用水に関心を寄せる声がありました。

さらに、今回の授業では、農業の多面的機能について知ってもらうために、水田の土と藍住北小学校の運動場の土を用いた土の透水性実験を行い、水田の多面的機能の一つである洪水防止機能を説明するとともに、農業・農村の働きについてまとめたパンフレットの配布を行いました。

授業終了後に行ったアンケートには、「農業の難しさや大変なことがもっと身近に思えた」、「実験をして土の性質がよくわかった」などの回答があり、今回の出前授業によって地域の農業や農業農村整備事業について関心を持ち、理解を深めてもらうことができました。

地域の将来を担う子供たちが地域の農業について関心を持ち、理解を深める良い機会となるように、今後も地域貢献活動を進めて参ります。



【出前授業の様子】